

## 向井議員、岩崎議員が聴く 子育て支援施設 活動の現状と課題

表紙写真／子育てネットゆめもくばの皆さん

今、子育て支援の在り方が大きく変わろうとしています。

そのような中、本市で子育て支援施設「キッズプラザひがしひろしま ゆめもくば」を運営している「NPO法人子育てネットゆめもくば」さんに、活動内容や課題について伺いました。

### 話をお聞きした方



子育てネット ゆめもくば  
理事長 村若 尚さん



子育てネット ゆめもくば  
施設長 岡 由美さん

# ゆったり のんびり 子育てを応援 「ゆめもくば」の活動

**Q** 活動を始めたきっかけと今までの変遷を教えてください。

**村若** 平成14年に、子育て中のお母さんたちのグループが子ども未来財団の「親子よろこびの広場事業」に応募し、西条町土与丸の西條商事さんの空き店舗をお借りして「おやこひろばゆ

めもくば」を開設しました。平成19年に、当時の西条プラザに

「キッズプラザひがしひろしま ゆめもくば」として移転。その後、西条プラザ閉店に伴う移転を経て、令和2年から現在のハローズ東広島店2階に移り、今に至っています。

**Q** 「ゆめもくば」をNPO法人化した経緯を教えてください。

**村若** 活動を始めた当初は東広島青年会議所が事業を受託し、お母さんたちのグループが運営していました。平成18年に法人化して独立しました。民間でも行政でもないのがNPOだと

思っていますが、社会的な立場を確立するためにも法人格を持つのはNPOにとって非常に重要なことだと考えています。  
**Q** 「ゆめもくば」の運営体制を教えてください。

**岡** 雇用スタッフは11名で、うち保育士が6人。管理栄養士と看護師もいます。また、2人が多胎児育児経験者です。他にボランティアスタッフもいますよ。  
**Q** 活動内容を教えてください。  
**岡** ゆめもくばは、おおむね0〜2歳の子どもたちが安心して



- ① 取材風景
- ② おやこひろばゆめもくば開所式  
(平成14年)
- ③ ひろばの様子 (平成19年)
- ④ もくば元気塾
- ⑤ ひろばの様子 (取材日)
- ⑥ ひろばに来ていた赤ちゃん  
(取材日)

のびのび遊べる場です。イベントへの参加で材料費などが必要な場合を除き、利用料は無料です。市内の子育て支援センターの中では、利用者数が多い方だと思います。最近はパパさんが来られることがとても増えました。スタッフは「傾聴」に努め、ママやパパが自力で問題を解決する手助けをしています。また、独自事業として、「もくば元気塾」を実施しています。自宅以外の集中できる場所で勉強したい子どもや、授業でわかりにくかったところの再確認をしたい子どもたちが来て勉強するもので、サポーターとして、広島大学などの学生さんに手伝ってもらっています。毎年夏休みには志和のかやぶき民家に子どもたちを連れて行くイベントをしています。こういった活動を通して、ふだんあまり接することのない大学生や高齢者と交流することは、子どもたちにとって有益なことだと思います。

**Q 運営していく上での課題はありますか。**

**村若** 市から「地域子育て支援拠点事業」と「利用者支援事業」を受託しており、ここから施設の運営費・スタッフの給料を出しています。スタッフはパート扱いですが、今後、厚生年金保険料等を負担することになるかもしれないので心配しています。また、国が導入を進めている「ごども誰でも通園制度」は市と利用者さんから費用をいただくことになりませんが、キャンセルをされても配置したスタッフの賃金はかかるので、赤字になります。それなら「時預かり」という制度を受託した方が利用者さんにもメリットがあるような気がします。なかなか悩ましいです。

**Q 行政に要望はありますか。**

**村若** 給与は普通の企業に比べてかなり低いです。スタッフはその差額分をボランティア精神で補ってくれていますが、人件費も上がってきているので、委託金額がもう少し増えればありがたいです。